

令和5年7月1日現在の世帯数と人口

(千種区 18.18Km²)

学区名	世帯数	人 口			対前月増減	
		総数	男	女	世帯数	人口
1 千 種	5,825	9,089	4,609	4,480	△ 8	△ 11
2 千 石	4,170	6,898	3,484	3,414	12	22
3 内 山	5,736	7,949	4,250	3,699	△ 4	3
4 大 和	3,593	6,703	3,307	3,396	8	14
5 上 野	7,514	15,491	7,562	7,929	△ 29	△ 14
6 高 見	7,343	13,234	6,325	6,909	4	5
7 春 岡	6,983	10,947	5,790	5,157	△ 20	△ 7
8 田 代	11,322	21,848	10,446	11,402	△ 21	△ 36
9 東 山	10,349	19,054	9,285	9,769	12	14
10 見 付	4,607	8,546	4,283	4,263	4	11
11 星 ケ 丘	3,567	6,826	3,039	3,787	△ 2	△ 8
12 自 由 ケ 丘	3,536	7,184	3,271	3,913	4	△ 1
13 富 士 見 台	6,511	15,120	6,850	8,270	6	△ 7
14 宮 根	3,822	8,056	3,730	4,326	5	7
15 千 代 田 橋	3,747	8,259	3,875	4,384	1	4
千 種 区 計	88,625	165,204	80,106	85,098	△ 28	△ 4
R4. 7. 1	87,464	165,185	80,081	85,104	111	109
対 前 年 比	1,161	19	25	△ 6	△ 139	△ 113
名 古 屋 市	1,154,438	2,325,682	1,141,434	1,184,248	327	△ 268
愛 知 県 (R5. 6. 1)	3,319,790	7,482,717	3,726,360	3,756,357	3,734	760

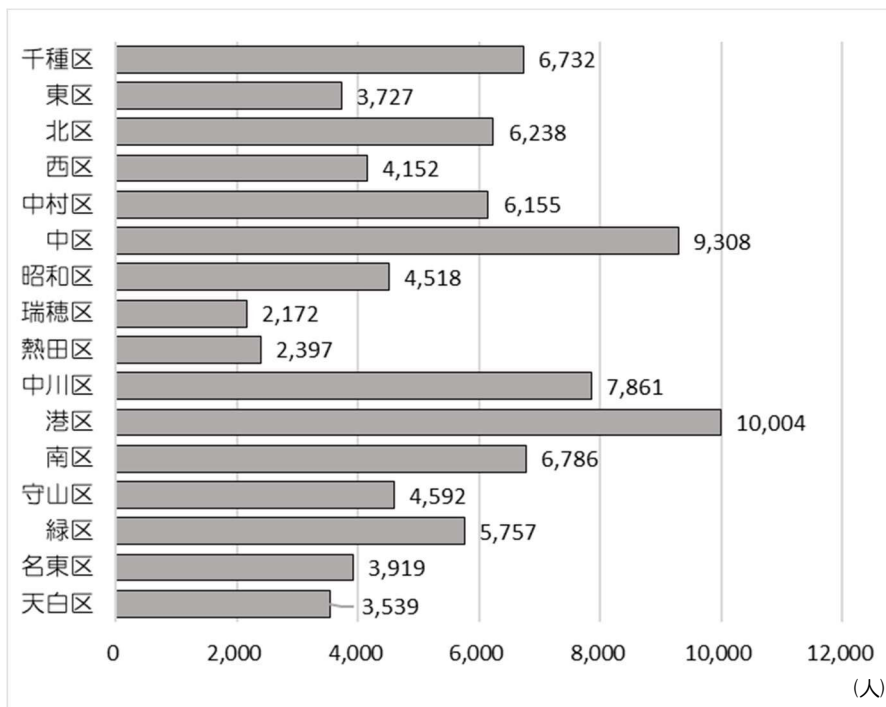
前月中の 増減内訳	自然動態			社会動態		
	出 生	死 亡	自然増減	転 入	転 出	社会増減
	88	127	△ 39	890	855	35

【参考】

国勢調査千種区人口				これまでの最大人口と最小人口(千種区)	
昭和60年	163,762	平成17年	153,118	最大人口	173,598 (昭和50年2月1日)
平成2年	156,478	平成22年	160,015	最小人口	146,727 (平成11年4月1日)
平成7年	148,847	平成27年	164,696		
平成12年	148,537	令和2年	165,245		

注) 学区別の世帯数と人口は、令和2年国勢調査結果の本市独自集計速報値であり、後日総務省から公表される数値と異なる場合があります。

千種区の外国人人口の概況



今回は、名古屋市及び千種区の外国人人口の概況を見ていきます。

まず、名古屋市内の区別外国人人口について見てみます（図1）。

名古屋市内の各区の令和5年5月1日現在の外国人人口の数を比較してみると、港区が10,004人と最も多く、続いて中区が9,308人となっています。千種区は6,732人で、16区の中で5番目となっています。

図1：区別外国人人口（令和5年5月1日現在）

次に、千種区の国籍別外国人人口について見てみます（図2）。

令和5年5月1日現在の千種区の国籍別外国人人口を見てみると、中国籍の人口が2,084人と最も多くなっています。

次に、令和5年5月1日現在の千種区における、平成26年からの10年間の外国人人口の推移について見てみます（図3）。

千種区では平成26年からの10年間で外国人人口が1,997人増加しており、平成26年から令和元年までは外国人人口が増加傾向にあります。令和2年から2年間は新型コロナウイルス感染症の影響か、外国人人口が減少傾向となっていますが、令和5年から再び増加傾向となっています。

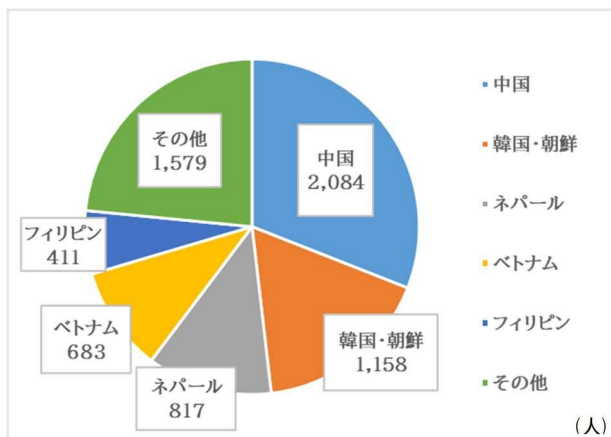


図2：千種区の国籍別外国人人口
（令和5年5月1日現在）

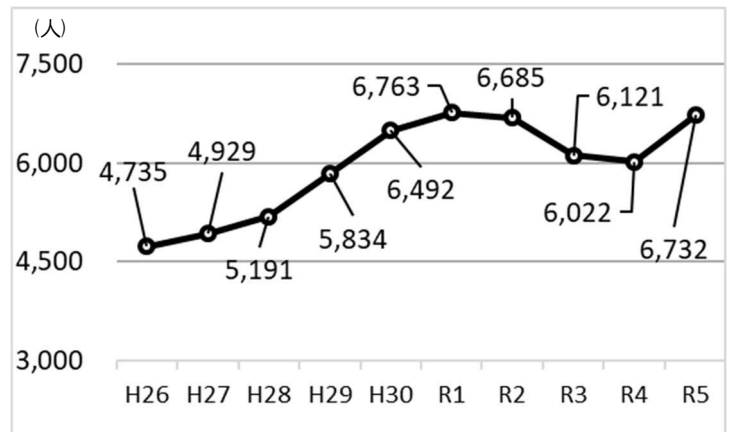


図3：千種区の毎年5月外国人人口の推移
（令和5年5月1日現在）